2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　バンドー化学株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5195　　ＵＲＬ　https://www.bandogrp.com
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）植野　富夫
問合せ先責任者　（役職名）財務部長　　（氏名）野戸　亮　　ＴＥＬ　078-304-2516

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	64,757	9.6	5,938	33.0	6,774	3.1	6,831	3.6	5,134	6.5	6,859	5.4
2026年３月期中間期	59,094	1.7	4,463	8.7	6,569	30.1	6,591	45.7	4,819	46.2	6,507	106.9

（注）コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	126.38	―
2026年３月期中間期	115.97	―

（２）連結財政状態

	総資産	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	135,145	95,585	95,327	70.5
2026年３月期	131,892	92,872	92,608	70.2

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	40.00	―	80.00	120.00
2027年３月期	―	50.00			
2027年３月期（予想）			―	52.00	102.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	4.8	10,000	4.7	11,500	△4.7	8,200	△22.4	201.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　IFRSにより要求される会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	44,213,536株	2026年３月期	44,213,536株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	3,750,987株	2026年３月期	3,461,077株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	40,627,513株	2026年３月期中間期	41,556,033株

（注）当社は、役員報酬ＢＩＰ信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士または監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当中間決算に関する定性的情報　（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年11月19日（木）に機関投資家およびアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）キャッシュ・フローに関する説明 …… 3
（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．要約中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）要約中間連結財政状態計算書 …… 4
（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）要約中間連結持分変動計算書 …… 8
（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（セグメント情報） …… 11

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

	前中間 連結会計期間 （百万円）	当中間 連結会計期間 （百万円）	増減額 （百万円）	増減率 （%）
売上収益	59,094	64,757	5,663	9.6
自動車部品事業	29,481	33,065	3,583	12.2
産業資材事業	19,731	20,606	875	4.4
高機能エラストマー製品事業	7,118	7,996	877	12.3
その他	3,151	3,789	638	20.2
調整額	△389	△700	△310	－
コア営業利益（セグメント利益）（△は損失）	4,463	5,938	1,475	33.0
自動車部品事業	2,432	3,225	793	32.6
産業資材事業	1,672	1,954	282	16.9
高機能エラストマー製品事業	140	459	318	226.6
その他	81	322	240	293.8
調整額	136	△24	△160	－
営業利益	6,569	6,774	204	3.1
税引前中間利益	6,591	6,831	239	3.6
親会社の所有者に帰属する中間利益	4,819	5,134	315	6.5

（注）コア営業利益（△は損失）は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

当中間連結会計期間は、売上収益は64,757百万円（前年同期比9.6%増）、コア営業利益は5,938百万円（前年同期比33.0%増）、営業利益は6,774百万円（前年同期比3.1%増）、税引前中間利益は6,831百万円（前年同期比3.6%増）、親会社の所有者に帰属する中間利益は5,134百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

《セグメント別の状況》

事業（セグメント）別の状況は、次のとおりであります。

［自動車部品事業］

国内においては、自動車生産台数が増加し、補機駆動用伝動ベルト（リブエース®など）と補機駆動用伝動システム製品（オートテンショナなど）の販売が増加いたしました。海外においては、欧米では補修市場向け製品の販売が増加いたしました。中国では補機駆動用伝動ベルト（リブエース®など）の販売は減少いたしましたが、ATV、UTV用変速ベルトなどの販売が増加いたしました。アジアでは二輪車メーカーの生産が堅調に推移し、スクーター用変速ベルトなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は33,065百万円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益は3,225百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

［産業資材事業］

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。海外においては、欧米では産業機械用伝動ベルトの販売が増加し、中国では農業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。アジアでは農業機械用伝動ベルトの販売が減少いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内においてコンベヤベルトの販売は減少し、樹脂コンベヤベルト（サンライン®ベルト）の販売は前年並みに推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は20,606百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は1,954百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

［高機能エラストマー製品事業］

機能フイルム製品につきましては、建築資材用フイルムなどの販売が増加いたしました。

精密機能部品につきましては、高機能ローラの販売は減少いたしましたが、精密ベルトなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は7,996百万円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益は459百万円（前年同期比226.6%増）となりました。

［その他事業］

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを行っており、売上収益は3,789百万円（前年同期比20.2%増）、セグメント利益は322百万円（前年同期比293.8%増）となりました。

上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,253百万円増加し、135,145百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が減少した一方で、営業債権及びその他の債権ならびにその他の金融資産が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ540百万円増加し、39,559百万円となりました。これは主に、営業債務及びその他の債務ならびに未払法人所得税が減少した一方で、借入金および繰延税金負債が増加したことによるものです。

資本は、前連結会計年度末に比べ2,713百万円増加し、95,585百万円となりました。これは主に、自己株式の取得を実施した一方で、利益剰余金およびその他の資本の構成要素が増加したことによるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の70.2%から70.5%となりました。

（３）キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高に比べ1,685百万円減少し、20,021百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は、以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ2,540百万円収入が減少し、5,804百万円の収入超過となりました。これは主に、税引前中間利益に非資金損益項目等の調整を加減した営業取引による収入が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ2,408百万円支出が増加し、3,583百万円の支出超過となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が定期預金の払戻による収入を上回ったことに加え、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ4,826百万円支出が減少し、3,791百万円の支出超過となりました。これは主に、親会社の所有者への配当金の支払額が増加した一方で、有利子負債が増加したことによるものです。

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第２四半期連結累計期間の業績と今後の見通しを勘案した結果、2026年５月14日付で公表した2027年３月期の通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2026年11月13日）公表いたしました「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．要約中間連結財務諸表及び主な注記

（１）要約中間連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	21,707	20,021
営業債権及びその他の債権	23,398	25,148
棚卸資産	21,086	21,063
未収法人所得税	101	96
その他の金融資産	660	1,052
その他の流動資産	1,378	1,512
流動資産合計	68,332	68,894
非流動資産		
有形固定資産	32,653	32,356
のれん	1,178	1,186
無形資産	2,562	2,397
持分法で会計処理されている投資	12,421	12,072
その他の金融資産	12,531	16,066
繰延税金資産	1,946	1,936
その他の非流動資産	265	235
非流動資産合計	63,559	66,251
資産合計	131,892	135,145

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	18,905	18,313
借入金	5,229	6,262
未払法人所得税	1,669	1,314
その他の金融負債	1,218	1,168
引当金	0	0
その他の流動負債	6,560	6,348
流動負債合計	33,583	33,407
非流動負債		
退職給付に係る負債	1,033	1,025
その他の金融負債	1,637	1,457
繰延税金負債	2,443	3,371
その他の非流動負債	321	297
非流動負債合計	5,435	6,152
負債合計	39,019	39,559
資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	2,946	2,872
利益剰余金	66,880	68,754
自己株式	△5,664	△6,464
その他の資本の構成要素	17,494	19,213
親会社の所有者に帰属する持分合計	92,608	95,327
非支配持分	264	258
資本合計	92,872	95,585
負債および資本合計	131,892	135,145

（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

（要約中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	59,094	64,757
売上原価	41,888	44,986
売上総利益	17,206	19,770
販売費及び一般管理費	12,742	13,832
その他の収益	1,693	177
その他の費用	232	106
持分法による投資利益	645	764
営業利益	6,569	6,774
金融収益	282	333
金融費用	260	276
税引前中間利益	6,591	6,831
法人所得税費用	1,758	1,687
中間利益	4,832	5,143
中間利益の帰属：		
親会社の所有者	4,819	5,134
非支配持分	13	9
中間利益	4,832	5,143
親会社の所有者に帰属する１株当たり中間利益		
基本的１株当たり中間利益（円）	115.97	126.38

（要約中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間利益	4,832	5,143
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	980	2,479
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	4	14
純損益に振り替えられることのない項目合計	984	2,493
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	608	△238
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	81	△540
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	690	△778
その他の包括利益合計	1,674	1,715
中間包括利益	6,507	6,859
中間包括利益の帰属：		
親会社の所有者	6,500	6,854
非支配持分	7	5
中間包括利益	6,507	6,859

（３）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2025年４月１日　残高	10,951	2,921	59,418	△3,678	12,519	82,131	369	82,501
中間利益			4,819			4,819	13	4,832
その他の包括利益					1,681	1,681	△6	1,674
中間包括利益合計	－	－	4,819	－	1,681	6,500	7	6,507
剰余金の配当			△1,588			△1,588	△137	△1,725
自己株式の取得				△1,181		△1,181		△1,181
自己株式の処分		2		15		17		17
株式に基づく報酬取引		14				14		14
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			170		△170	－		－
所有者との取引額等合計	－	17	△1,418	△1,166	△170	△2,737	△137	△2,874
2025年９月30日　残高	10,951	2,939	62,819	△4,845	14,029	85,895	239	86,134

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2026年４月１日　残高	10,951	2,946	66,880	△5,664	17,494	92,608	264	92,872
中間利益			5,134			5,134	9	5,143
その他の包括利益					1,719	1,719	△4	1,715
中間包括利益合計	－	－	5,134	－	1,719	6,854	5	6,859
剰余金の配当			△3,260			△3,260	△11	△3,271
自己株式の取得		△0		△901		△902		△902
自己株式の処分		13		101		115		115
株式に基づく報酬取引		△87				△87		△87
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△0		0	－		－
所有者との取引額等合計	－	△74	△3,260	△800	0	△4,134	△11	△4,145
2026年９月30日　残高	10,951	2,872	68,754	△6,464	19,213	95,327	258	95,585

（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	6,591	6,831
減価償却費及び償却費	2,655	2,823
減損損失	64	11
受取利息及び受取配当金	△270	△316
支払利息	49	73
為替差損益（△は益）	61	68
持分法による投資損益（△は益）	△645	△764
固定資産除売却損益（△は益）	29	28
棚卸資産の増減額（△は増加）	407	△79
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△977	△1,922
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	126	711
退職給付に係る資産及び負債の増減額	34	29
引当金の増減額（△は減少）	△0	△0
その他の流動負債の増減額（△は減少）	131	△173
その他の非流動負債の増減額（△は減少）	△188	△29
その他	103	△88
小計	8,173	7,205
利息及び配当金の受取額	1,290	923
利息の支払額	△50	△70
法人所得税の支払額	△1,406	△2,252
法人所得税の還付額	338	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,345	5,804
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△627	△853
定期預金の払戻による収入	1,520	528
有形固定資産の取得による支出	△2,322	△3,226
有形固定資産の売却による収入	13	3
無形資産の取得による支出	△126	△145
資本性金融商品の売却による収入	334	－
その他	32	109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,175	△3,583

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金（３ヶ月以内）の純増減額（△は減少）	△4,866	1,258
長期借入金の返済による支出	△225	△225
リース負債の返済による支出	△619	△650
自己株式の取得による支出	△1,181	△902
親会社の所有者への配当金の支払額	△1,588	△3,260
非支配持分への配当金の支払額	△137	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,618	△3,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	106	△115
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,342	△1,685
現金及び現金同等物の期首残高	17,715	21,707
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,373	20,021

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（１）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスを軸とした事業部制を採用しており、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内および海外における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループの事業は親会社の事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車部品事業」、「産業資材事業」および「高機能エラストマー製品事業」の３つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントは、次の製造・販売を行っております。

セグメントの名称	主要な製品
自動車部品事業	自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など
産業資材事業	一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど
高機能エラストマー製品事業	クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フイルム、医療用フイルム、装飾表示用フイルム、工業用フイルムなど

（２）報告セグメントごとの売上収益、利益または損失の金額に関する情報

報告されている各事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と概ね同一であります。セグメント間の売上収益または振替高は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益および利益または損失は、次のとおりであります。

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	連結（注）３
	自動車部品事業	産業資材事業	高機能エラストマー製品事業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	29,481	19,731	7,115	56,328	2,765	―	59,094
セグメント間の売上収益または振替高	―	―	3	3	385	△389	―
計	29,481	19,731	7,118	56,332	3,151	△389	59,094
セグメント利益（コア営業利益）（△は損失）	2,432	1,672	140	4,244	81	136	4,463
その他の収益	―	―	―	―	―	―	1,693
その他の費用	―	―	―	―	―	―	232
持分法による投資利益	―	―	―	―	―	―	645
営業利益	―	―	―	―	―	―	6,569
金融収益	―	―	―	―	―	―	282
金融費用	―	―	―	―	―	―	260
税引前中間利益	―	―	―	―	―	―	6,591

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

２．セグメント利益（△は損失）の調整額136百万円には、セグメント間取引消去18百万円、全社費用117百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

３．当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益（△は損失）はコア営業利益で表示しております。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	連結（注）３
	自動車部品事業	産業資材事業	高機能エラストマー製品事業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	33,065	20,606	7,992	61,664	3,092	－	64,757
セグメント間の売上収益または振替高	－	－	3	3	696	△700	－
計	33,065	20,606	7,996	61,667	3,789	△700	64,757
セグメント利益（コア営業利益）（△は損失）	3,225	1,954	459	5,639	322	△24	5,938
その他の収益	－	－	－	－	－	－	177
その他の費用	－	－	－	－	－	－	106
持分法による投資利益	－	－	－	－	－	－	764
営業利益	－	－	－	－	－	－	6,774
金融収益	－	－	－	－	－	－	333
金融費用	－	－	－	－	－	－	276
税引前中間利益	－	－	－	－	－	－	6,831

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

２．セグメント利益（△は損失）の調整額△24百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、全社費用△23百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

３．当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益（△は損失）はコア営業利益で表示しております。